

大正十年二月一日、創立ニ係リ事務所ヲ惣海  
郡刈谷所ニ置キ同業者相互ノ意思ノ疎通ヲ圖  
リ圓滿ニ業務ニ從事シ得ル基礎ヲ造リ會員  
中不時留滞者ニ援助シ其ノ利益者ヲ福ヲ圖ルヲ  
目的トシ會員三河鐵道沿線驛仲仕四十五名  
(毎月會費會員費各自收入一圓ニ付シ)  
(五座宛一人二月才五圓乃至二月才見込) 主幹者ハ神谷  
繁太郎支部分會ナシ

(愛知縣)

(三) 大日本機關車乘務員會沼津支部解散

二月八日轉勤ヲ命セラルル西川係外三名九日  
支部事務所(山田屋旅館)ニ臨時支部總會  
ヲ開キ轉勤ノ不當ヲ當局ニ詰問セントセシメ會  
員召集セズ亦會トナリタルヲ西川等躍起ト  
ナリ機關庫ニ山口主任ヲ訪ヒ轉勤事由ヲ質シ夕  
ルモ同主任ハ相手ニセズ支部員中ノ多クハ同時ノ  
經過ニ伴ヒ冷靜ニ歸シ且ツ家庭ニ於ケル勸告其  
他首魁者ノ懲戒的轉免等當局ノ莫斷ニ恐怖  
シ九月末脱會ヲ申込ムモ、多ク西川等ノ後繼者  
トシテ幹部ノ位置ニ立レル市川条次郎、一杉条作  
尾脇國作、三名ハ鐵道當局ノ態度ニ恐怖シ  
タルモノ、如ク全十二日駿東郡原所長植松保作  
ニ哀願シ山口主任ニ謝罪シ全日午後三時ヨリ支  
部事務所ニ臨時協議會ヲ開キ乘務員會  
脱會及支部解散等ニ關シ協議ノ結果、一同  
脱會シテ支部解散ヲ決議シ翌十三日本部